

大会名 Competition	第93回天皇杯・第84回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会 1次ラウンド秋田県代表決定戦
男子決勝	Year Month Day Time 2017 年 7 月 9 日 12 : 00
場所 Place	琴丘総合体育館



秋田県バスケットボール協会

チームA JR東日本秋田 118 ○	<table border="1"> <tr><td>37 1st 15</td></tr> <tr><td>24 2nd 14</td></tr> <tr><td>29 3rd 10</td></tr> <tr><td>28 4th 15</td></tr> <tr><td>OT</td></tr> </table>	37 1st 15	24 2nd 14	29 3rd 10	28 4th 15	OT	チームB 三種体協琴丘 54 ●
37 1st 15							
24 2nd 14							
29 3rd 10							
28 4th 15							
OT							

主審:Referee
小川 裕之 秋田
副審:Umpire
中道 凌平 秋田
京極 幸村 秋田
テーブルオフィシャル:Table officials
秋田県協会

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
3	×	大矢 孝太郎		4	0	2	0	1	0		二田 洋志		-	-	-	-	0
7	×	森 知史		15	0	6	3	2	1	×	大澤 俊輝		7	1	2	0	1
8	/	志水 一希		10	0	5	0	0	3	×	佐々木 学		4	0	2	0	3
9		石橋 拓		-	-	-	-	0	4	×	石橋 諒		14	0	6	2	1
11	×	鈴木 隆史		16	3	3	1	2	10	/	竹内 裕也		0	0	0	0	0
12	/	根岸 城二		16	0	8	0	1	12		菊池 勇樹		-	-	-	-	0
15	×	柳澤 洸太		7	0	3	1	2	18	×	吉元 悠		9	1	3	0	2
24	/	高橋 純		6	0	3	0	1	25		児玉 儀仁		-	-	-	-	0
26	/	平塚 貴将		0	0	0	0	0	31		石澤 雄太	CAP	-	-	-	-	0
30	/	舘 龍星		7	0	3	1	0	38	/	宮田 祐汰		0	0	0	0	1
33	/	佐藤 光		6	0	3	0	1	41		大高 孝行		-	-	-	-	0
34		菊地 啓志		-	-	-	-	0	46	/	梶原 佑太		0	0	0	0	0
39	/	櫻庭 朋久		0	0	0	0	3	57	/	小納 駿介		4	0	2	0	2
91	×	斉藤 大輔		14	2	4	0	0	65		内村 祥也		-	-	-	-	0
99	/	山崎 涉真	CAP	17	3	4	0	3	81	/	大山 智幸		0	0	0	0	0
				-	-	-	-	0	91	×	金澤 泰宏		16	1	6	1	3
				-	-	-	-	0	81		0		-	-	-	-	0
				-	-	-	-	0	91		0		-	-	-	-	0
コーチ		柿崎 智弥							コーチ		小納 真琴						
Aコーチ		黒政 成広							Aコーチ		齊藤 直樹						
合計				118	8	44	6	16	合計				54	3	21	3	13

※×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1ピリオド:両チームともにハーフコートマンツーマンでスタート。JR東日本秋田は#99山崎の3PTSで先制。更に#11鈴木、#7森のミドルシュートで得点を重ねる。残り6分、流れを渡したくない三種体協琴丘はタイムアウトを要求し、呼吸を整えるが、JR東日本秋田の勢いは止まらない。三種体協琴丘は#18吉元の3PTSなどで攻めるが、JR東日本秋田が#15柳澤を中心に22点差をつけ、第1ピリオドは37-15で終了。

第2ピリオド:三種体協琴丘は#18吉元のミドルシュートで追い上げようとするが、JR東日本秋田の展開の速いバスケットで失点が続いてしまう。JR東日本秋田は#24高橋を中心にオフェンス・ディフェンスリバウンドともに負けず、ボールを渡さない。三種体協琴丘は#91斉藤のミドルシュート、3PTSで加点するが、その後はノーゴールの苦しい時間が続く。JR東日本秋田は#24高橋のゴール下のシュートなどで得点を決め、61-29で第2ピリオド終了。

第3ピリオド:JR東日本秋田は速いパス回しから得点を重ね、リードを広げる。追う三種体協琴丘も#18吉元を中心にパスをつなげ加点していく。残り4分過ぎ、JR東日本・三種体協ともにメンバーを入れ替え、新しい展開のバスケットを繰り広げる。JR東日本秋田は#11鈴木#91斉藤が3PTSを決め、勢いが止まらないまま90-39で第3ピリオド終了。

第4ピリオド:JR東日本秋田は流れを渡さず、第4ピリオドも速い展開のバスケットで得点を重ねる。三種体協琴丘は#4石橋が連続得点をあげ、更に#91金澤がフリースローとレイアップで加勢し、チームの意地を見せる。JR東日本秋田はメンバーが変わっても順調に得点を重ね、118-54で2次ラウンド進出の切符を得た。